

# 滋賀県 生活困窮者自立支援担当者会議 初めての WEB会議を開催しました！

令和2年5月22日(金)に、今回初めての試みとなる **WEB 会議形式**での、**県内担当者会議を開催**しました。

新型コロナウイルス感染症を“**県内担当者一丸**”  
となって乗り越えたい・・・！

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各市町の生活困窮自立支援相談窓口への相談件数・申請件数が増加。  
例年にないほど多くの相談等への対応に奔走する中でも、こんな時だからこそ、各市町の状況の情報共有を行い、この状況を県内各市町や関係機関と県が一つになり、乗り越えていきたいという思いから、WEBでの担当者会議を初の試みとして実施しました。

改めて重要性を実感をした、  
顔の見える関係性づくり。

「相談・申請件数の増加、さらには制度改正を踏まえた適切な対応が必要となる大変な時期だからこそ、県内担当者の繋がりを強くしたい・・・」、そんな思いで臨んだWEB会議では、今年度初めての開催であることを感じさせないほど、活発な情報交換や意見交換ができました。

## Web会議って難しい？！

事前の工夫でスムーズな会議開催ができました！

事前に各市町から生活困窮者自立支援事業に係る取組状況や課題、情報交換をしたい内容を集約・共有。

「ある工夫」で会議中の意思表示が簡単に！！

【WEB会議の様子】

- ①次第に沿って、事前共有資料をもとに県から各市町担当者を指名する形で進める。
- ②県もしくは各市町より、他市町の取組状況等を確認したいときは、「下図」のように○×により意思表示を求め、その提示を受けて個別に意見交換。

これまで生活困窮者支援を長く担当してくださっている担当さん、今年度から始めて担当となられた担当さん、それぞれの視点での課題や対応の取組みを共有していただき、会議を通じて県内の各自治体の知恵と知識を総合してより良い制度運用ができるように、という共通の思いを持ってたように感じています。

予定時間を超過したWEB会議の最後には、近いうちに直接顔を見て会える日を願って、皆さんで手を振ってお別れしました。

Web会議の様子「○×」での意思表示


## 県担当者として嬉しかったこと・・・。

県として、6月補正に向けた住居確保給付金に係る各市町の補正予定の情報を収集し提供させていただいた結果、市の担当さんより「非常にありがたかった！」とのお声をいただきました。

お忙しいところ情報提供にご協力いただいた担当者の皆さんのおかげですが、今後も県として各担当さんのお声を聴いて出来ることに取り組んでいきたいと思っています。

今後も県内関係機関の担当者の皆さん、また、県を  
超えて全国の自立支援困窮者自立支援担当さんとも気  
持ちを一つに…より良い制度運用に向けて頑張ります！